

● 本日の卓話

「外部卓話」

特定非営利活動法人 WITH DOG

理事長 徳丸希和 さん

● 次週の卓話

「お花見例会」

於：紀三井寺ガーデンホテルはやし



● 先週の例会記録

- ◆ロータリーソング 和歌山ロータリー
- ◆ビジュア紹介 ゲスト 2024-25年度青少年育成奨励金対象者 2名
- ◆出席報告 (会員数77名、免除会員1名) 本日出席(3/18) 56名 72.73%
- ◆メイキャップ 粉河へ3名、和北へ3名、アゼリアへ2名
- ◆S. A. A. (ニコニコ箱) 西廣真治さん、松本真治さん、野井和重さん、松井良樹さん、川端貞喜さん、野志幸生さん、糸川文雄さん、河村秀樹さん、紀 俊崇さん、笹本昌克さん、濱田 勝さん、田村歎彰さん、塚本貞治さん、慈幸信治さん、森下展行さん、海瀬隆太郎さん、武田雅夫さん、中野智一さん

3月は水と衛生月間です
世界ローターアクト週間

本日合計 ￥74,000 今年度累計額 ￥1,658,000

- (財団寄付献金箱) 野井和重さん、松井良樹さん
- (米山奨学会献金箱) 野井和重さん、松井良樹さん
- (青少年育成奨励金) 野井和重さん、松井良樹さん、川端貞喜さん、野志幸生さん

● 会長あいさつ

会長 野井和重

【子供の数】



過日HIMでも出生数の話しが出ていました。その速報値ですが令和6年度72万人(外国人含む)で、うち日本人は68万人台と予想されます。裏返すと4万人近くの外国人が日本国で誕生しているという事ですね。これはまた別の機会にお話するとして、今日は和歌山市のお話をしたいと思います。私が生まれた昭和39年あたりの出生数は6,500人前後、今の小学生は2,500人から3,000人弱、本日お越しの高校生あたりで3,000人を少し上回る程度、今年生まれた子供たちは2,000人と、少子への速度は政府想定より15年も早く来ているようです。これから先に起こってくる問題は沢山予想され、専門家によって語られていますが、こちらも想定外の事がたくさん出てくることは間違いないと思います。これからは私学を含め高校授業料の無償化が当たりまえとなっていく中、今年度和歌山の公立高校の出願倍率が1.0を切ったところがたくさんあり、県内平均は0.86倍とのこと。必要のない高校も出てきます。本日の会長あいさつは着地点が見つかりません。本当に大変な世の中になっていき、孫の世代、ひ孫の世代はどうなっていくのか……と改めて考え込んでしまいました。本日卓話でお越しいただいている近畿大学付属和歌山高等学校・中学校の川合校長先生、お越しいただき有難う御座います。私学が抱える問題や今後の展望をお伺い出来たらと思います。また青少年育成奨励でお越しのお二人、ようこそお見えになられました。是非とも思い

の進学を成し遂げて頂き、もちろん自分たちの年代のこと、これから関わっていく子供たちのこと、世間はワールドワイドながらも日本らしい立ち位置の形成へと、素晴らしい日本へと導いていただけます事をお願いいたします。みなさま本日もよろしくお祈りいたします。

会 長 報 告

粉河ロータリークラブ様へ、松井幹事、中野S.A.A.で表敬訪問に伺いました。少数精鋭とはこちらのクラブの事かと思いましたが。やはりご縁のあるクラブへの訪問は我がクラブにとっても勉強になります。二年後の互いの周年交流も楽しみであります。



2017-18瀬川年度に記念植樹させていただいたホテル前のカワヅザクラが満開です。



幹事報告

- 例会変更のお知らせ (和歌山城南RC、和歌山アゼリアRC、有田南RC)
- 案内中の行事の締切が迫っています。出欠の方よろしくお願ひします。
- ハイライトよねやま お目通しお願ひします。
- 退会 みずほ銀行 松本会員 3/27付で退会されます。業務の都合により、例会で挨拶ができず、よろしくお伝えくださいと連絡頂いております。
- 本日、インフォメーション3名行いました。4月以降入会いただく予定です。

■ 退会のご挨拶

松本真治 会員

(株)みずほ銀行 (和歌山支店長)

この度、秋田支店長の発令を受け、和歌山を離れることになりました。

発令後はタイトな引継ぎ日程の中で動かねばならず、3月21日が和歌山の最終日となったことから、例会でのご挨拶が叶わなかったこと、深くお詫び申し上げます。

和歌山ロータリークラブには22年7月からお世話になり2年半、親睦ソング委員から始まりクラブ会報委員として大変お世話になりました。

新任地でも秋田ロータリークラブ様にお世話になる予定です。奉仕の精神を忘れず、地元の皆様との関係を築いて参りたいと思います。

野井会長をはじめとする和歌山ロータリークラブの皆様のご発展を心より祈念申し上げます。

委員会報告

2024-25年度

青少年育成奨励金 下半期報告及奨励金授与

担当：青少年育成奨励特別委員会

川端貞喜 委員長

ロータリー財団・国際奉仕委員会

福地達明 理事

タイ王国での浄水器寄贈報告

環境保全・社会奉仕委員会

河村秀樹 理事

令和7年大船渡大規模山林火災被害
支援金について

国際交流委員会

豊田英三 委員長

パンチャオロータリー訪問、3/25まで
申込を延長しています。どうぞ、ご参加
ください。

卓話

「サッカーと私」



近畿大学附属和歌山高等学校・中学校
校長 川合廣征 さん

1. 「Proライセンス」って、なに？

日本サッカー協会(JFA)が公認する指導者の免許制度で最高位の指導者資格。Jリーグ、WEリーグ及び日本代表の監督を務めるために必要な免許。

2. 「Proライセンス」って、どうしたらとれるの？

「Proライセンス」コーチ養成講習会は、受講資格の条件を満たす者の中からJFA技術委員会が選考して受講者を決定。そして、養成講習会を受講した上で、JFA理事会による承認を受けて取得できる。

3. 何故、「Proライセンス」を取得したのか。

サッカーの指導者として、サッカーの勉強を本気で始めたきっかけは、初めて指導した高校3年生がインターハイ予選1回戦で負け、号泣している姿をみて、「指導者は、生徒たちを『勝たせないといけない』と決意したこと。和歌山の高校サッカーは、「全国の鴨、近畿のおまけ」と言われていたこと。そして、「Proライセンス」を取得することを決意したのは、「和歌山で勝てるようになったが全国大会で結果を出せなかったことの悔しさ」と、「和歌山の高校でも全国大会で勝てること」を次世代に残し、和歌山のサッカー少年に夢や希望を与えたかったからだ。また、レベルの高い選手を育てるために「Jリーグの監督を目指す指導者がどんな指導をしているのか」、「技術面・戦術面でどんなことを選手に要求しているのか」を知りたかったからだ。



(左から)卓話ゲスト 川合廣征さん、野井会長

新会員を推薦しよう

ロータリーに友達または
同僚を1人紹介しよう

